

2026

さよなら 原発

関西
アクション

原発やめて！ 核燃サイクル中止！

～東電福島第一原発事故から15年
原発回帰は間違いだ～

講演



脱原発福島ネットワーク世話人

佐藤和良さん

演奏



フォークデュオ

長野たかし・あやこさん

2026

3

8

日曜日

14:00 集会

15:50 デモ出発

西梅田コース



中之島公園 女性像前

大阪市北区中之島1丁目1

東電福島第一原発の大爆発の事故から15年。原発事故は終わってもいない。溶けた燃料デブリは今なお回収のめどすら立たず、冷却し続けなければならない。

被ばくした子どもたち・被災者は救済・補償されたのか。避難するかしないか、帰還するかどうか、なぜ選択しなければいけなかったのか。核汚染水の海洋投棄、除染のためにはぎ取られた汚染土の再生利用で福島県は復興するのか。

原発事故被災地の今に目を向けてみよう。そして電力供給地とされた福井県民の声を聞こう。自衛政権の進める原発政策に抗議し、韓国や台湾での反原発のうねりに連帯しよう。そして脱原発・自然エネルギー100%への転換を推し進めよう。原発再稼働反対！40年超え老朽原発うごかすな！原発新増設反対！

佐藤和良 脱原発福島ネットワーク世話人

さとうかずよし 福島県いわき市議会議員。1953年福島県楢葉町生まれ。高2の時の広島訪問で、核と人類が共存できないと確信。1973年の福島第二原発公聴会反対闘争に参加するなど原発反対運動に。1988年武藤類子さんと「脱原発福島ネットワーク」を結成し、世話人として東電交渉などに取り組む。2004年に市議初当選。2011年の事故後は、福島原発告訴団の副団長として、東電、国らの刑事責任を追及。検察の不起訴を市民が構成する検察審査会が覆して刑事裁判が始まった後は、福島原発刑事訴訟支援団の団長を務めてきた。



中之島公園女性像前

石地 優 原子力発電に反対する福井県民会議 事務局次長

いしじ まさる 1953年、福井県に生まれ20歳代前半で原発に反対する活動を始め。福井で原発を止める最後の機会との思いで、関電の原発構内での使用済み核燃料乾式貯蔵施設の設置を止めることに尽力。1審で設置変更許可取り消しの判決を勝ち取った国相手の大飯3・4号炉の運転停止を求める裁判の原告。（同訴訟の大飯高裁判決は春ごろ）



長野たかし・あやこ フォークデュオ

ながのたかし・あやこ 日本のフォークシーンに大きな足跡を残したグループ「五つの赤い風船」のメンバーである長野たかしと、女優の森川あやこが結成したフォークデュオです。彼らの音楽は、社会に対する真摯なメッセージを歌い続けることに特徴があります。特に、昨今の不安定な社会情勢を憂い、「もの申す」歌として、聴く者の心に深く共鳴する魂のハーモニーを奏でています。長野たかしの音楽的背景と、森川あやこの表現力が融合し、力強くも心に染み入る歌声は、多くの人々に感動を与え続けています。

～アピール～



菅野みずえ 原発賠償関西訴訟原告

かんのみずえ 2008年から福島県浪江町津島で暮らし、東電福島原発事故時、自宅避難を受け入れていた3月12日、放射性ガスで津島地区が高線量であることを知る防護服を着た男に「逃げろ」と言われた。自身が避難した際の線量検査では、針が振り切れたが記録が残されていなかった。福島県内の仮設住宅を経て、2015年から兵庫県三木市で避難生活。「原発がある限り次はあなたの番」と訴えている。



あこ No Nukes Asia Forum Japanメンバー／Ilpen(일펜) Solidarity Club

あこ 2000年生まれ。大阪在住のK-POPファン。「日本人」がK-POPを消費することのモヤモヤについて提議するため、Ilpen(일펜) Solidarity Clubを立ち上げる。2025年5月には、台湾でひらかれた「ノーニュークス・アジアフォーラム2025」に参加し、アジア初の脱原発達成を世界中のアクティビストと共に祝いをした。

